

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17065	観光協会運営支援事業	課名	地域観光課 観光交流G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財	会計 01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の推進	務	款 07:商工費
	施策の方向	01:持続可能なまちづくり観光の推進	科	項 01:商工費
戦略プロジェクト	-	目	目 03:観光費	
事業予定期間		H 21 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等 亀山市観光協会への補助金交付基準	

② 目的・概要	対象	一般社団法人亀山市観光協会
	目的	まちづくり観光のコーディネート力、推進力を確保するため、亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図る。
概要	観光協会への財政的支援を行うとともに、観光協会主催イベントの開催支援やポスター、パンフレットの印刷、ホームページ運営など情報発信、フィルムコミッションの立ち上げ及び運営等に対する支援を行う。また、観光協会事務所移転、組織体制等の検討を行い組織の基盤強化を目指す。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(関、亀山の観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッション設立準備委員会の運営 ・DMOの設立検討 ・観光協会事務所移転等の検討	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(関、亀山の観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営 ・亀山版DMOの設立検討	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(関、亀山の観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営 ・亀山版DMOの設立	
	年度実績	○30年度のフィルムコミッション設立に向けての事務支援の実施。 ○観光協会HPの更新及び細やかな情報更新の実施。 ○観光協会事務所移転に向けた、事務所、駐車場、関宿の公共施設の利活用等の検討。			
事業の計画・実績	計画額	事業費	18,200千円	18,700千円	18,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	17,700千円	17,700千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	17,700千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	17,700千円	17,700千円	0千円	
	総人件費 ②	2,304千円			
	一般職員	2,304千円			
	所要人員	0.30			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		20,004千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	観光入込み客	計画値	150,000	180,000
			市内の観光関連施設等への入込客数	実績値	128,944	
				単位	人	人
	②	名称	ホームページ閲覧数	計画値	60,000	84,000
			ホームページ閲覧数	実績値	90,021	
				単位	回	回
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 亀山市の魅力発信に繋げるため、まちづくり観光のコーディネート役である観光協会の組織・運営基盤を強化し、より効果的なプロモーションができるよう支援する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 観光協会の組織・運営基盤を強化のため、具体的な対応策の検討を行った。ホームページのリニューアルを実施し、きめ細やかな情報提供が行えるよう協議検討を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 30年度のフィルムコミッション設立に向けて事務支援を実施した。併せて、幅広い観光関連施設及び事業者との連携が必要であるため、フィルムコミッションの設立が亀山版DMOの基礎となることを整理した。また、観光協会事務所移転に向けて、事務所、駐車場、関宿の公共施設の利活用等検討を行った。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 観光入込客は目標値に届かなかったが、これらを解決するために、観光協会事務所移転に向けて、事務所、駐車場、関宿の公共施設の利活用等検討を行うことができた。また、HPリニューアル及びきめ細やかな情報提供により閲覧数が大幅に増加したため、今後の来訪に期待が持てるものである。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 観光協会の運営基盤の強化については、駐車場整備等、関宿全体での公共施設の再編が必要である。 亀山市の弱みでもある食に関する分野の洗い出しや、情報提供が必要である。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 観光協会事務所移転に向けて、事務所、駐車場、関宿の公共施設の利活用等計画を具体的施策としての位置付けに関する検討を行う。 また、各媒体を活用し、亀山市の食に関するPRを行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 新たな訪問客との交流が促進され、特に関宿での観光の魅力が高まる。 また、市内観光に食を含める事で、滞在時間の増加と経済効果が高まる。	
対応時期		平成31年度予算要求時期まで	

【1次評価者】	生活文化部 地域観光課 観光交流グループリーダー 木田 博人
【最終評価者】	生活文化部 地域観光課長 木田 博人